10・21に向け10・17日大社学同総決起集会に結集せよ!!

さまざまな事件が、偶発性を示しながらも一定の予見を許し、その予見の傾向を少しづつにすれすろとも、とまどくあとで姿を明らかにしながら生起してゆく時代の台上にはもはやどんな局面においても予測を立てられぬような時代が訪れる。諸理論は、陳列を見逃すまでになって有効性を発揮した筈の「理論」などの激しい血量を求め流し治めう。しかもなおむしろそれに頼るべき「理論」に依どこにも見当らないという情況が、そこでは不気味に人間の知性をおびやかす様にわとずれるのだ。

同時に一八時北研究者と在籍部隊の位置となってか鮮明な日比谷闘争を失い、その序列は崩壊してくる。だがまさにこれこそが危機の訪れの真の姿であり、激動への大きなうねりの本当の表われにすぎない。かかる情況こそ「理論」に対して訪れる歴史的試練なのであり、ここにたって混乱のみを見るものは、自ら自身の変容を「相図」としてゆするすると思っているような政治山師、思想的サギ師どもをさえずさえて、確実に前進の歩みの中に身を投じこめていくのだ。

全ての理工学部の学友諸君!とりわけ七〇年代階級闘争の新たなる地平を切り拓くべく各戦線を闘っている全ての同志諸君!

社会主義学生同盟は、六〇年安保闘争、とりわけ六七年十・八羽田闘争以降の六〇年代の総括をふまえて七〇年代階級闘争の飛躍を通じて第二次共産同の分派闘争を展開してきた。まさに七〇年代に飛躍すべき運動論―組織論をめぐっての論争は、全新左翼をも巻き込む三分裂へ、戦力観念論争として結実し、それは共産同における我々(再建派)、戦旗派、叛旗派の分解を決定的にし、第二次共産同は解体した。全ての学友諸君!我々は共産同の解体に際して、六八年末と同一の質の再建に着手している!。今まさに七〇年代へ離陸せんと新たなる運動が展開されているのであり、それは政治のワクの中で自らを表現しきれない八派全共闘によっては何ら鮮明にされないであろう。今要求されているのは党派間統一戦線固定、ではなくして、まさにそれを超えるべく止揚される新たなる質の政治組織であり、その事は、共産同の再生に向っての我々の責任があるのである。今多くの諸君の六〇年代階級闘争の総括なくして、個別課題による地区運動の、のりこえに対し我々ははっきりと地区党を建設し地区党を媒介とした地区共闘の創出をもって闘い抜いて刻みこまなければならない。まさに、管理体制粉砕の闘いは、改憲阻止闘争のワク内であってはならない、まさに一般的な民族的要求をこの闘いを情念の世界に拡散する事を拒否する。我々の任務は階級的支配を意識する市民的マルクス主義的幻想を解体し権力闘争のルツボを作り出す事にあるのだ。市民自警団等我々の暴力、及び被抑圧民族に対する「差別=排外主義」と同等のものとして対決しうる地点に立たねばならぬ。我々の地区斗争―地区党建設の斗い抜きに「アジア人や沖縄との連帯」など我々は語りえない。全ての闘う同志諸君、自らの再生を賭して、社学同に結集せよ!。(参照 入管・若き戦士9号
総括・日大支部レジメ70年代階級斗争)

10・17
日大社学同総決起集会
・中總団交参加阻止!!
・地区共闘を創設せよ!!
PM3:00
理工1号館にて、

10・21
日大理工総決起集会
・管体制粉砕!!
・中總団交参加阻止!!
PM12:30
〜
理工6号館前
↓
[illegible](予定)